

核廃絶署名・NPT 代表派遣 京都推進ニュース 2

2009年10月19日発行
核署名・NPT 代表派遣京都推進委員会
連絡先：京都原水協
Tel 075-811-3203:Fax 075-811-3213

来年5月のNPT再検討会議にむけ青年が学習会 核兵器なくす絶好のチャンス生かそう！

青年の平和サークル・ピースねっと京都は18日、来年5月に行われるNPT（核不拡散条約）再検討会議についてじっくり学ぼうと、「核兵器はなくせるの？ Yes, We Can!」と題する学習会を開き、33人が参加しました。学習会の前には三条京阪前で署名宣伝行動を行いました。



講演する富田宏治世界大会起草委員長

原水爆禁止世界大会国際会議の起草委員長である関西学院大学教授の富田宏治さんがパワーポイントを駆使して講演し、この間の核兵器廃絶問題を取り巻く情勢、そして来年のNPT再検討会議の意義を詳しく説明、「核兵器をなくす絶好のチャンスを私たちの運動で生かそう」とよびかけました。

参加者からは、核兵器廃絶をはじめ世界の潮目が変わっていることがよくわかった、（草の根の）運動が世界の変化をつくりだしたこと、そしてこのチャンスを実現させるのも私たちの運動だということが実感できた、青年として何ができるか考え行動していきたい - などの意見が出されました。

国際署名をすすめるチラシができました！

**核兵器のない世界を
あなたの署名をニューヨークへ**

No More Hiroshimas, No More Nagasakis.

核兵器の無い世界を！
2010年5月、ニューヨークの国連本部に世界の国々から政府の代表が集まり、核兵器の廃絶を話し合う5年一度的の会議、核不拡散条約（NPT）再検討会議が開かれます。

この会議に向けてアメリカのオバマ大統領は、「核兵器のない世界を追求する」ことを約束し、国連の安全保障理事会は「核兵器のない世界のための条件を定める」ことを決議しました。核兵器をなくし、平和で安全な世界を実現する大きなチャンスです。

日本は世界でただ一つ、核爆の被害を体験した国です。いまも23万人をこえる広島と長崎の被害者は、心の傷に悩み苦しみながら核兵器の廃絶を訴えています。日本の市民が、被害者とともに声を上げるときです。

みなさんの「核兵器のない世界を」との願いを署名に託してください。すべての署名はニューヨークに届けられ、世界各地からの署名とともに2010年5月、人類共通の願いの証として核不拡散条約再検討会議に提出されます。

**オバマ大統領や鳩山首相も
核廃絶をよびかけ**

核兵器のない世界を！
2010年5月、ニューヨークの国連本部に世界の国々から政府の代表が集まり、核兵器の廃絶を話し合う5年一度的の会議、核不拡散条約（NPT）再検討会議が開かれます。

この会議に向けてアメリカのオバマ大統領は、「核兵器のない世界を追求する」ことを約束し、国連の安全保障理事会は「核兵器のない世界のための条件を定める」ことを決議しました。核兵器をなくし、平和で安全な世界を実現する大きなチャンスです。

日本は世界でただ一つ、核爆の被害を体験した国です。いまも23万人をこえる広島と長崎の被害者は、心の傷に悩み苦しみながら核兵器の廃絶を訴えています。日本の市民が、被害者とともに声を上げるときです。

みなさんの「核兵器のない世界を」との願いを署名に託してください。すべての署名はニューヨークに届けられ、世界各地からの署名とともに2010年5月、人類共通の願いの証として核不拡散条約再検討会議に提出されます。

* 1枚1円で幹旋します。注文は京都原水協まで(075-811-3203 Fax075-811-3213)。

国連軍縮週間(10/24~30)の初日には全国いっせいの署名行動がとりくまれます。京都は下記のようにリレー署名宣伝行動をおこないますのでご参加ください。短時間の参加も歓迎します。

10月24日(土) 午後2時~5時 三条河原町